

＜株式会社エフエム東京 第331回放送番組審議会議事録＞

1. 開催年月日：平成18年5月9日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席委員（4名）

子安美知子 委員長
青池慎一 副委員長 内木文英 委員
横森美奈子 委員

◇欠席委員（3名）

渡辺貞夫 委員 香山リカ 委員
内館牧子 委員

4. 番組試聴

【番組名】「アースデー・コンサート」

【放送日時】 2006年4月22日（土） 19:00～21:00

【番組概要】 毎年4月22日のアースデーに、日本武道館で「地球を愛し、感じるこころ」をテーマに開催しているコンサートを、生中継により日本全国ならびに世界各国に向けて発信しています。17回目を迎える本年は「音楽を通じて愛を届けたい」との思いで音楽活動を行っているシンガーソングライターの倉木麻衣さんが、8000人を超える観客、そして番組を聴いている全リスナーに向けて、地球への愛をテーマに歌い、メッセージを発信しました。

本日は、当日の生中継の様子をダイジェストでお聴き頂きます。

＜試聴時間：約20分＞

【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側説明）

- 趣向を変えながら毎年実施していくのは大変なことだと思うが、イベントの方向性としてどこに向かっているのか疑問に思った。環境問題への取り組みはいち早かったと思うが、今回が17回目ということで、せっかく長く続けているのだからもっとムーブメントになって拡大してもいいと思った。今までのアースデー・コンサートでは共演が結構あったが、今回はワンアーティストということで、もちろん意図はあるのだと思うが、個人的にはトーンダウンした印象を受けた。毎年、一回一回はきちっとしたコンセプトで実施していると思うが、問題は全体としてみたときのイベントとしての方向性だと思う。長く続けているのだから、今までの蓄積がいい形でムーブメントになっていくような動きがあってもいいと思う。

- 今回の試聴版は説明が多く、肝心の音楽があまり入っていなかった。ただ、コンサート会場では音楽は緊張感に満ちたものだと感じた。TVなどでは感じるができない「生」ならではの緊迫感があった。観客が立ち上がって手を挙げて盛り上がっている様子を見て、音楽には歌手と演奏者と観衆が一体となったときの緊迫感があると感じ、そしてその場で1分1秒を感じながらステージを作っていく人たちの緊張感も感じられた。今回のダイジェストではそれが感じられなかったことが残念だ。

- 初期の頃からアースデー・コンサートに参加したり、番組で聴いたりしているが、今回コンサートを聴き、メッセージが浸透してきていると感じた。初期の頃は、アーティストもオーディエンスもメッセージをよく理解できていなかったような印象を受けていたが、たくさんの人を巻き込んでやってきた結果、みんなの中にメッセージが浸透してきたと感じた。これは長年やってきたTFMの功績。東京エフエムという企業としても道徳的基盤の確立につながっており、これは大きな財産であろう。長年の苦勞の賜物である。世の中の流れとしても環境は重要なトピックになってきているが、その中でもTOKYO FMは先取りしじっくり発信してきたことが素晴らしい。

- 今年のアースデー・コンサートでは、より身近に訴えてくるメッセージがあったように感じた。環境問題についてよく言われるのはごみやムダ使いを減らしていくということだが、今回はそれを越えて積極的に行動する旨のメッセージが含まれていた。長年の間、じっくり取り組んでいたことの

成果がじわっと出てきたと感じた。

- 今回は、出演アーティストの環境問題を真剣に考えながら活動している姿勢とアースコンシャスのコンセプトがうまく結びつき、メッセージがより具体的なものとなり説得力のあるものとして伝わったのだと思う。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「Heart Sharing」
5月28日（日） 6：00～8：25放送
- ② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FM ホームページ内
<http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は6月6日（火）に開催することを決めた。

以 上